

<福島県知事賞>

「安心安全で豊かな日常を送るために」

中島村立中島中学校 3年 関根 沙亜也

私が税について考えた時、まず思いついたのは、私が通う歯医者でした。私は歯の生え変わりが遅く、歯並びも悪かったため小学3年生の頃から現在に至るまで前歯の矯正をしています。それから6年間、矯正のメンテナンスのために月1回、私は歯医者に通っています。始めは、歯医者はありませんでした。しかし、私は長い間歯医者に通っていたため歯磨きが上手になり、今でも虫歯になっていません。これはお医者さんや歯科衛生士さんが歯の事を優しく、丁寧に教えてくれたからだと思います。また、最近私が知ったのは矯正代は家庭での負担ですが、毎月のメンテナンス費用は税金によってまかなわれているということです。こんなところでも税金が使われていると知り、驚くのと同時に今まで歯の健康を守り続けていられたのは、知らない誰かの税に支えられていたということに心温まる思いになりました。このことから、歯の健康を維持するために歯磨きを怠ってはいけないと改めて思いました。また、私が税に支えられているのは、医療面だけではありません。今まで過ごしてきた小、中学校は校舎や教材、備品など校内で目にするもののほとんどが税によって支給されているものです。さらに、普段歩いている歩道、道路、図書館や公園など外でも人々が安心安全に豊かな日常が送れるように税金が使われています。もし、税金がなくなってしまうたら、すべてが自己負担となり、学校に行けない人がいたり、気軽に遊べる場所や学習できる所がなくなってしまう

ます。そうすると、便利さや安心感のある生活はできなくなってしまいうでしょう。

少し前までは税金の支払いなど、自分への負担となってしまう部分しか目に入らず、増税などと聞くと気持ちが落ちてしまいがちでしたが、税によって救われる人や助けられる人がいるということ、そして安心した生活が送れることを知り、税金を払うことへのためらいなどがなくなりました。

私はあと数カ月で義務教育を終えます。そして来年度から高校の授業料が無償化される「高等学校等就学支援金制度」の所得制限が撤廃され、さらに支給上限額も引き上げられる予定です。これにより私達学生の進路の選択肢は大きく広がります。

これらを通して、私の生活は改めて税金によって支えられていると感じました。大人になっていくにつれ、私が支払う税は増えていくでしょう。その時に、私が今まで支えられた分、他の誰かを支えられるように政治などへの関心を深め、人々の生活がよりよいものになるよう、胸を張って納税できる大人になりたいです。